

天竜川ダム再編事業環境検討委員会

設 立 趣 意

天竜川は、中央・南アルプス間を流下する急流河川であり、流域は中央構造線等による急峻な地形と脆弱な地質のため、土砂の生産量・流出量が多く、流域の土砂災害、既設ダムの堆砂、ダム下流河道における砂州の固定化、河口海岸域の侵食等が問題となっている。

天竜川ダム再編事業は、利水専用既設ダム（佐久間ダム）を有効活用し、新たに治水機能を確保し、天竜川中下流部の洪水防御に資するものである。また、貯水池の保全を図るために恒久的な堆砂対策を実施することにより土砂移動の連続性を確保し、ダム下流河川の望ましい河川環境、海岸侵食の抑制等を目指すものである。

本検討委員会は、天竜川ダム再編事業によるダム直下から海域までの物理環境・生物環境について、検討し助言を得ることを目的として、関連する有識者・専門家で構成する委員会を設置するものである。